

研究課題名	入院患者に処方された薬剤の中止返納及び廃棄に関する後方視的観察研究
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日, および 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間に広島大学病院に入院し, 処方された薬剤が途中で中止となった患者さん
研究の目的・方法	研究目的：本研究では, 入院患者における処方済み薬の中止返納および廃棄となる薬剤の実態を明らかにし, 返納薬の再利用可能なシステムの構築を通じて医薬品費削減に貢献することを目的とします。現在, 当院では処方された薬剤は一部使用後に中止されるとすべて廃棄する運用となっています。本研究では, 処方カレンダー機能の導入前後の処方薬の中止返納および廃棄の状況を分析し, 返納システムの課題を明確にします。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用し, 処方薬の中止返納および廃棄量を分析・検証します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療科, 入院病棟, 患者プロフィール（性別, 身長, 体重, 年齢）, 処方内容, 処方日, 数量, 入院目的, 入院日数, 調剤方法, 服用中止・中断指示, 返納状況, 廃棄状況など。 情報の管理責任者：広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2025 年 3 月 26 日）以降
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に, 氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し, 代わりに新しく研究用の番号を付けて使用します。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて, 研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は, 研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお, お申し出による不利益が生じることはありません。ただし, すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には, 提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には, 特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また, 本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば, 他の研究対象者の個人情報等の保護や

研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 薬剤部

担当者：檜山 洋子

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5572